

令和8年度 第2回  
栃木東部地域会議 会議録

令和8年5月28日(木)  
栃木市国府公民館 大交流室

栃木東部地域まちづくりセンター

## 会 議 録

|                  |   |
|------------------|---|
| 会議の名称            | 令和8年度第2回栃木東部地域会議  |
| 開催日時             | 令和8年5月28日(木) 18時30分 開会 19時30分 閉会  |
| 開催場所             | 国府公民館 大交流室  |
| 出席者氏名            | 別紙1のとおり   |
| 欠席者氏名            | 別紙1のとおり   |
| 事務局職員職氏名         | 別紙1のとおり   |
| その他出席者等          | 別紙1のとおり   |
| 会議事項             | 別紙2のとおり   |
| 会議の公開又は<br>非公開の別 | 公開  |
| 傍聴人の数            | 0人  |
| その他必要事項          |   |
| 会議の経過            |   |
| 発言者              | 議題・発言内容・決定事項  |
|                  | <p><b>1 開会</b></p> <p style="text-align: center;">——開会——</p> <p><b>2 委嘱状交付</b></p> <p><b>3 新任委員あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任の大山せい子委員、斉藤敏明委員、島田利恵委員の自己紹介</li> <li>・現委員の自己紹介</li> <li>・まちづくりセンターの自己紹介</li> </ul> <p><b>4 会長あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議に入る前に私から一つご提案がありますので、皆様のご意見をお聞かせください。地域会議は現在6時30分から開催と設定されています。来月からはメンバーも変わりまして、少し早めて、6時から開催でやっていきたいと思うのですがいかがでしょうか？</li> </ul> <p style="text-align: center;">《賛成多数》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成多数ということで、6月からは6時開催ということでよろしく願いいたします。</li> </ul> <p><b>5 議事</b></p> <p>栃木市地域づくり推進条例第9条の規定により、柏崎会長による議事進行。<br/> &lt;本日の出席委員数の報告&gt;</p> |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>本日の出席委員 14名（委員総数 15名）<br/>過半数以上の委員の出席であるため本日の会議は成立</p> <p><b>(1) 栃木市子ども・子育て会議委員候補者の推薦について</b></p> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議事に入る前に東部地域会議について簡単に説明。</li> <li>・資料1に基づき説明。</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・J委員退任に伴い後任の委員を選定する。</li> </ul> <p>&lt;質問等&gt;</p> <p>A 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今センターの方から説明がありましたように、今まで大宮地区の子供育成会長が受けていましたが、J委員が東部地域会議を退任されたので、K委員が引き継いでやっていただくのが一番いいのかなと思いますけどどうでしょう？</li> </ul> <p>B 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先週、大宮南小学校の運動会に参加させていただいて、すごくG委員さんが一生懸命やっていたところを拝見しまして、1年ほどこちらの会議に参加しており、慣れたところで私はG委員さんを推薦したいと思います。</li> </ul> <p>A 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他にご意見ある方どうぞ。今までの慣例で大宮地区の子供育成会長がやっていたんで、B委員からそのような提案がありましたので、どういう進め方をしたらよろしいですかね。皆さんのご意見をお聞かせいただきたい。事務局に浅野さん本人から後任についてお話はありましたか？</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にJ委員から引き継ぎはなかったですが、ひとつ気になることがあります。K委員が複数の会議の審議委員等になっているので、何個受けられるのか。特に誰がというわけではないので東部地域宛てに来てる依頼なので、誰が出て大丈夫だという認識です。</li> </ul> <p>A 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今センターの方からもありましたように、別にどなたでもいいということですので私はやれてみたいっていう人、男性も含めておりませんか？</li> </ul> <p>C 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての会議だから、現在子育て中の方がいいのではないかな？</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内文には女性の推薦についてご配慮くださいと書いてあるので、今出ているお二人から推薦することで問題ないと思います。ただ、そのお二人に受けられるか確認した方がよい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">《確認したところ二人とも受けることが可能》</p> <p>D 委員<br/>議長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・J委員の後任であるなら、K委員がいいと思う。</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局としては今日決めたほうがいいですか？</li> <li>・今日決めてほしいです。</li> </ul> <p>E 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらもできるということならば、前任者の残任期間ということでK委員にやっていただくという出井さんの意見に賛成です。</li> </ul> <p><b>【結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかに意見が無かったため、K委員を推薦することで決定した。</li> </ul> |
|--|--|

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | <p>(2) 地域予算提案事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2に基づき説明。</li> <li>・東陽中学校備品整備事業について、ソフト事業を絡めることができないため今回の候補から除く。</li> <li>・交通安全教室について、令和8年度3件から令和9年度7件に増える見込みで、東部地区も追加となると委託業者の都合で何件実施可能かは調整が必要となる。</li> <li>・地域活性化交流イベントの内容を決めてそれに基づいて予算金額を算出する。</li> <li>・前回話が出たしもつかれについて、国府北小学校で行う場合、1学年を想定して材料費が5万円程度となる。</li> </ul> <p>&lt;質問等&gt;</p>     |
| F 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室のことで付け加えます。栃木東部地域は道路が良くなって人の流れが変わり、環境も変わってきています。私の家の東側が東陽中の通学路になっておりまして、1ヶ月程前に登校中の生徒が本来は1列で通学すべきところを横2列で通学していて交通事故を起こしてしまいました。交通状況が非常に変わってるということ踏まえて、特に中学生の通学に焦点を当てて交通安全対策を進めるとよろしいかと思います。</li> </ul>  |
| A 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回から予算の使い方が非常に制限というか制約というか、かなり厳しくなってきました。ハード事業を行う場合は、ソフト事業も絡めて予算を認めてもらうというスタンスになります。このことについてセンターの方からこういうことで少し変わってきてますよっていう状況変化をお話ください。</li> </ul>  |
| 事務局  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和9年に使える事業が586万2000円あります。ただその中でハード事業となると、ソフト事業を絡めないといけないということで提案することが難しい。今回やるとしたら地域活性化交流イベントと安全教室などが想定されます。ただ、そのイベントで500万使えるかといったら、実際使えません。ですので、すべての予算を使い切ることができないと思います。ただし、余ってるからハードがやりたいということもできません。おそらく、地域政策課も余ったからハードをやろうとか、過去にそのような事例があり、それを見直すため、現在のソフトを絡めてという形になってると思いますので、限られた制約の中で決めていくしかないのかなと思います。</li> </ul> |
| A 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・センターから話があったように、状況が変わってきたということを皆さんにご理解をいただいて、ハードだけでは駄目ですよと予算があるからこれもあれもやるというのは駄目ですよという内容ですね。状況変化はみんなが共有をしていく必要があるのかなと思っておりますのでお願いいたします。ですので令和7年度から世代間交流イベントを国府地区と大宮地区でやっているから、その辺をメインに、少しお金かけても大丈夫だよっていうのは皆さんにわかっていただきたい。</li> </ul>  |
| 事務局  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化交流イベント内容を考えていく上で、次回から国府地区と大宮地区の委員に分かれてイベントの内容を決めていく方がスムーズに行くのかと思います。その内容を予算化できれば、ある程度計画も立てられますので、</li> </ul>  |

|      |   |
|------|---|
| D 委員 | <p>イベントの内容を各自考えてきてもらって次は地区ごとに分かれて話し合<br/>っていこうかと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日新任の方がいまして、内容がわからないと思うんですよ。ソフト事業、ハード事業の定義や、今候補に出ている事業の説明を事務局からお願いします。</li> </ul> <p>《事務局よりソフト事業、ハード事業の定義や、今候補に出ている事業の説明を資料2により行った》</p>  |
| A 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大宮地区の状況で知っておいて欲しいことがあります。ここ2年で大宮地区は200世帯ほど増えている。栃木市が3月末で70世帯ぐらい増えています。だから大宮地区の200世帯が、栃木市の70世帯に大きく貢献してるということで、若い世代の方が増えてきて、他の地域から来た方が多いですから、B委員を中心にやってもらってる世代間交流が非常に地域としては求められている。他の地域から来た人が大宮地区に来てよかったと子供のことから高齢者のことまで、このイベントを中心に理解できて地域の活性化につながる。そういうまち作りをしていこうというのが大宮地区で話し合われています。そういう点ではB委員は大変だろうけど、年末の世代間交流イベントは、新しい若い世帯が増えていますので、そういう人たちが参加しやすくすることを頭に置いて計画できればと思います。</li> </ul>                  |
| B 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11番子育て世代サポート事業の補足で、これは外国人のサポート支援にもなるのかなと思います。外国人のお子さんがそういうところに入りやすいような状況をぜひ周知していきたいなど。外国人の方が本当に増えています。そういった方が一緒にお子さんと交わりながら、世代間交流を何かの形で広げていけたらいいなど。そういった支援もサポート事業の中で一緒にできたらいいのかなと考えています。</li> </ul>  |
| A 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そういうことで大宮地区の世代間交流は、B委員の方から内容が盛られてやっていくような計画になると思います。</li> </ul>  |
| G 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人の心のサポートは大切だと思います。人種の壁、言葉の壁、文化の壁があって孤独感が出てきてしまう。あと親戚が少ないと頼るところがないので非常に心細い。でするので気軽に寄れる場所というのがあったらいいなと思います。自分も海外に住んでいた経験があって、その時は本当に孤独だったんです。言葉の壁、人種の壁、文化の壁で。日本にいる感覚で言葉と話すと、ちょっとしたニュアンスの違いで通じないなど、見えないコミュニケーションの壁というものがあって、そういうときに頼りになったのが、国際交流施設であったり、すぐ相談できる場所っていうのが非常に心強かったので、市役所とかにもあると思うんですけども、地域の身近な場所に何かちょっと寄れる場所とか昔だったらお寺など、そういう場所があったらなと思います。そういう場所が子育ての世代にあると非常に子育ても楽になるんじゃないかなと。</li> </ul> |
| A 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩間さんは、非常に幅広く活用していますので、岩間さんのお話いただいた</li> </ul>  |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>ようなことも世代間交流の中に入れて、実行委員として入っていただいて、ご協力のほどよろしくお願ひしたい。</p>  |
| B 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・7番の防災事業について、新たな防災気象情報の指針が変わったという情報を聞いたのですが、こちらの防災タオルを配るとか防災の意識を皆さんに高めていただくために、その世代間交流の中に盛り込んで、講話とかハザードマップを利活用し、皆さんが住んでる場所は、今こういう状況なんだよと、大宮地区と国府地区それぞれで注意喚起するというのを発信していただけたら防災の意識が高まっていくのかなと思いました。タオルとかこういった何か配布物っていうのはすごくいいのかなと思ひまして、事業を本当に絡めてやっていただければいいのかなというところで提案させていただきました。</li> </ul>   |
| H 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は去年から入ったばかりなので教えていただきたいのですが、こういう提案をした後、誰がどのようにしてこれを進めていくのかっていうのが、いまいち具体的に私の中で落ちてこないんです。今まで私は自分が参加する方の立場で、企画側に入ったことがない。そうすると、今回ここで決定され提案されたことがどのように具現化されていくのかという。そのストーリーじゃないんですけどそういったものを教えていただけると。あと例えば、公民館まつりとかで参加すると色々なボランティアの方や包括支援センターとかが入って管理運営されているんだなっていう感じはわかるんです。けれどもこの会で話されたこととか、どのように規定をされて、どんなふうこれが運営されていくというのをちょっと話していただきたいです。</li> </ul>   |
| 事務局  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こういった事業を提案してどうなるかというその後計画書を作ります。事業の概要だったり予算等を盛り込んだ計画書を市長に提出します。市長に認められたら、令和9年度に予算化されます。その予算は各担当課に配布されて実施してもらいます。例えば交通安全事業だったら、交通防犯課に予算づけされてそちらで教室を開催するという流れになっております。あと大塚運動広場の整備事業がもし採用された場合にはスポーツ課に予算づけされてテントを購入します。地域活性化交流イベントはどうなるんだっていう話になるかと思うのですが、それは各地区にまちづくり実働組織という団体がありまして、大宮なら大宮地区まちづくり協議会、国府地区であれば国府地区まちづくり協議会に負担金としてお金を渡します。そこで、その事務局である公民館職員と連携してイベントを行うという流れになっております。その交流イベントの中に、先ほどの防災事業だったり、関東ふれあいの道認知度アップ事業だったり子育て世代サポート事業だったり、そういったものを自由に組み込める形になります。</li> </ul> |
| H 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を選定するとか何かをやりたいときにまず、栃木市の方がバックアップするということか？</li> </ul>  |
| 事務局  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでもいいですし、委員さんの中で知り合いの方がいるのであれば直接交渉しても問題ないですね。市が絡まなくても、こういった人知ってるよっていうのであれば、紹介していただいてその方に対して講師費用を払う形で大丈夫です。あくまで負担金としてまちづくり協議会にお金を渡すだけなので</li> </ul>   |

|                     |   |
|---------------------|---|
| <p>H 委員<br/>事務局</p> | <p>市ではなくて実働組織の方が動くという形です。例えば交通安全事業だったらその担当課に行くので、そこが予算を執行します。けれども、このイベントだけは特殊でまちづくり協議会にお金を渡すだけで、あとはその組織で事業を行うということです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体化するとまちづくり協議会で企画するということですか？</li> <li>・地域会議である程度決めています。その決まったことをまちづくり協議会が行うという形ですね。例えば去年だったら大宮地区でクリスマス会をやりまして、地域会議で内容を企画し、ある程度決まった状態でまちづくり協議会が行っていました。</li> </ul>   |
| <p>H 委員<br/>事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・原案を作るといったことですか？</li> <li>・そうです。なのでこういうのをやりたいっていうのを事務局に話していただければこの事業はいくらかかりますよと提案することは可能なので、連携しながらやっていくっていうことになります。</li> </ul>   |
| <p>E 委員</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 ページ目をお願いします。前も一度発言しているのですが、スケアードストレイト教室というのを一番最初に大平でやったんですよね。それで効果があるっていう評判が立って、あちこちで真似しました。それも大切でやってほしいのですが、それはショック療法で継続的に毎回やるものではないので、継続的にやる別の交通安全教室も必要ではないかと考えております。そこで、国府地区と大宮地区は2年後に駐在がゼロになるわけですね。そうすると今のうちに駐在さんと協力して、子供にも周りの大人にも駐在さんの存在を意識してもらって、集約されたときに、万町からも今までのようにこっちに来てもらう体制を作るために、この2年の間におまわりさんに協力してもらってやる交通安全事業、これを是非各学校でやれないかというふうに思っていてこれを提案してるんですが、よろしかったらお願いしたいと思います。</li> </ul> |
| <p>B 委員</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年なんですけど、栃木県警の方に来ていただいて自転車のマナーとか、自動車の安全教室を、高齢者 100 人ぐらい集めて大宮地区の千寿園で社会福祉協議会としてやりました。すごく反響があって、もう 1 回初心に戻ったというような意見が多かったです。栃木県警のシュミレーターを使った交通安全教室をお子さんだけでなく、高齢者の方にも開けたらいいのかなというふうに思っています。栃木県警の方に依頼すれば、こちらに来てくれるのでお金はかかりません。ただ、人数を集めてくださいという感じなのでそれを周知して、高齢者なら自転車、小学生なら歩き方とか、そういう教室もできたらいいのかなって思います。</li> </ul>  |
| <p>A 委員</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・去年非常に県警が熱心に協力してやってくれた。スライドの他にもね、白バイまでは持ち込めなかったんですが、非常に熱心にやってくれましたね。</li> </ul>  |
| <p>F 委員</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 点ほどお話したいと思います。まず一つ目、交通安全の件が話題になっていると思うんですけども、スケアードストレイト教室はどの中学校でも同じメニューでやると思うんです。けど各地区で行う交通安全対策については、この地域の特性みたいのを踏まえた教室を開催できればいいかなと思ったのでちょっと申し上げます。二つ目は、B 委員からあった防災事業のお話に付け加えて、民生委員の会長さんから2月に防災イベントがあるから来ま</li> </ul>   |

|      |  |
|------|--|
| 議長   | <p>せんかと誘われて、ちょっと行ってきました。イベントの内容が講話を聞くのではなくて、自分で手に触れたり、防災マップがどうなってどこが危ないかなど、そういう実際に自分で体験型のようなイベントをやっておりまして、この防災事業について、地域ネットの中にうまく連携できればとご提案申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各委員の意見が、いくつか出てきましたので、それを含めてご検討をお願いします。ちょっとこれは挙手で確認しておきたいので、第2号議案について、理解をできた方、賛成ですという方は挙手をお願いします。</li> </ul> <p style="text-align: center;">《全員挙手》</p> |
| 事務局  | <ul style="list-style-type: none"> <li>次回は国府地区と大宮地区に分かれて行いますか？地域活性化交流イベントの内容を決めていかなければならないので。</li> </ul>   |
| 議長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>そうですね。それぞれの地区で特色があるから分かれてやった方がいいかと思えます。</li> </ul>  |
| G 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>大宮地区と国府地区一緒に年に2回やることって可能ですか？それぞれで年1回じゃなくて、年に2回できて国府地区と大宮地区そんなに遠くないので同じ負担で、参加できる方がもっと広がるかなと思って。</li> </ul>   |
| A 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>そういう意見があったってことを受け止めておいてください。</li> </ul>   |
| I 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>大宮地区と国府地区では住んでいる方がそれぞれ違いますし、自分の近いところの参加の可能性が高くなる。まとめてしまうと、分散して両方とも共倒れになる可能性がありますので、それぞれ独立した形の方がよろしいかなというふうに思えます。</li> </ul>   |
| 議長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>他に意見が無いようなので以上で終わりにします。</li> </ul> <p><b><u>6 その他</u></b></p> <p>○次回の開催予定<br/>令和8年度第3回会議<br/>令和8年6月25日（木）午後6時30分（大宮公民館）</p> <p><b><u>7 閉会</u></b></p> <p style="text-align: center;">——閉会——<br/>(会議終了時刻 午後7時30分)</p>  |

別紙1 出席者及び事務局

<出席者（委員）>

|     |       |     |        |
|-----|-------|-----|--------|
| 会 長 | 柏崎 桂二 | 副会長 | 島田 研   |
| 委 員 | 島田 利恵 | 委 員 | 出井 康夫  |
| 委 員 | 岩間 靖子 | 委 員 | 大山 せい子 |
| 委 員 | 大橋 哲夫 | 委 員 | 早乙女 次男 |
| 委 員 | 森谷 芳子 | 委 員 | 斉藤 敏明  |
| 委 員 | 松本 博  | 委 員 | 森 寛    |
| 委 員 | 梁島あけみ | 委 員 | 和久井賢司  |

<欠席者（委員）>

委 員 大島 定男

<事務局>

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 川津 真一 | (栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長) |
| 根本 俊恵 | (大宮公民館館長)                  |
| 大塚 将己 | (国府公民館主任)                  |

<その他出席者>

## 別紙2 会議事項及び配付資料一覧

### <会議事項>

#### 1 開 会

#### 2 委嘱状交付

#### 3 新任委員自己紹介

- ・委員自己紹介
- ・事務局自己紹介

#### 4 会長あいさつ

#### 5 議 事

- (1) 栃木市子ども・子育て会議委員候補者の推薦について
- (2) 地域予算提案事業
  - ・地域活性化交流イベントの予算額について
  - ・事業の選定について

#### 6 その他

- ・次回の開催予定  
令和8年度第3回会議  
令和8年6月25日（木）午後6時00分（大宮公民館）
- ・委員の退任について

#### 7 閉 会

### <配付資料一覧>

- ・ 栃木市子ども・子育て会議委員候補者の推薦について
- ・ 地域予算提案事業について

資料1

資料2